

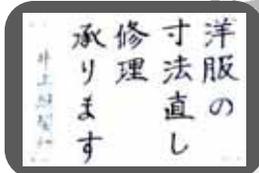
見つけた! まちのプロフェッショナル

~洋服のお直し・井上縫製所~

新コーナー!
グルメも含めた
まちの『ワザ』『店』
をご紹介します。

大井二丁目、稲荷神社の前。一見、個人宅のようですが、小さな看板の脇に手書き文字で→と書かれています。

先代が山形から上京し縫製所を開いてから61年。以前は既製服の上着を仕立てていましたが、時代の流れで仕事が減り、15年ほど前から洋服の直しを始めました。今はご主人・奥様・お母様の三人で、主に専門業者からの依頼で東京近郊のデパートに持ち込まれた洋服の寸法直しをしています。



「普段はおお客様の顔が見えない仕事なので、直接持ち込んでくださる方に喜んでいただけるととてもうれしいんです。だから個人の方、近所の方相手にもうけはあまり考えていません。」と朗らかに答えてくださるご主人。

先日子どもの制服の直しをお願いした時も、快く引き受けてくださいました。

大きかった上着もこんなにピッタリ!

ていねいな仕事と良心的なお値段、そして何より親切なご家族の人柄にひかれて、ご近所にはリピーターも多いんですよ!

【檜山・山本】



N★さきつちさん(13歳の「マイブーム」)



楽しそうなフンイキがよく出ていますね! 服のデザインも細かいところまでこっていて、とてもかわいいです! あとは手の描きこみをわすれずに! 手は顔と同じくらい「表情」が出る部分ですよ。

イラスト

伊藤学園 3年生の やまき

カレーの かくし味

先生 みんなの家では、カレーをおいしくするのに、なにを入れる?

子ども りんご!

先生 ええっ!! カレーに チョコレート、入れるの?

子ども ぼくんちも!

先生 チョコレート入れる!!

先生 ……

もしかして、それは…「カレー〇」?!

でっかい板チョコだね笑。【鈴木・山本】

加仕様! イラストの仕上げまで

これで今日からあなたもイラストレーター!

今回は、表面でご紹介した五十嵐さんに、1工程ずつ解説つきでイラストが完成するまでの手順を教えていただきました。【菊池】【裏面レイアウト】 石川恵



①アタリを取る
顔の形やポーズを大ざっぱに描いてアタリを取ります。
顔は〇に十字を描いて、顔の向き、目の位置などを大まかに決めます。
私はこのとき、印刷に出ない水色の芯のシャープペンを使っています。



②下描きする
①のアタリをもとに鉛筆でしっかり下描きしていきます。
紙がいたまないように、B以上の鉛筆やシャープペンを使うのがオススメです。
私は0.5mmと0.3mmの芯のシャープペンを使い分けています。



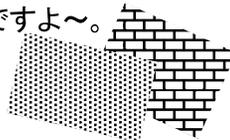
③ペン入れする
②の下描きの上に、黒のインクでペン入れします。
キレイに印刷できるように、ボールペンではなく、製図ペンや、つけペンとインクを使いましょう。



④ベタ・ホワイトを入れる
下描きを消しゴムで消して、細かいところを仕上げます。
ベタ(黒い部分のぬりつぶし)を入れ、ホワイト(ミスノンなどの修正液)で修正したり、目に光を入れたりします。



⑤トーンを貼って仕上げる
スクリーントーンと呼ばれる、あみ目などの印刷された透明のシールを貼ります。
これを貼ることで、色がついているように表現できるんですよ。



皆さんも、スクランブルにイラストを投稿してみませんか?

*仕上げはペン書きで(印刷がきれいに仕上がります)。

*サイズはA4の半分(14.8cm×21cm)で。

投稿していただいたイラストは上段のコーナーで五十嵐さんのワンポイントアドバイスとともに掲載! ご応募・お問い合わせは大井第二地域センター(3772-2000)までどうぞ☆